

『紅葉を訪ねて： 那須茶臼岳』

## 那須茶臼岳・姥ヶ原山行報告(2023年10月13日(金))

今年は夏の暑さがなかなか収まらず、紅葉が遅れているので、当初の予定より一週間遅らせて実施することにした。“紅葉狩り”の時に大事なお日様のある天候は、“晴れ女”が参加されることになって安心だ。最終的には伊藤さん、神田さんと陽田の3名で出かけることになった。

東京駅ホームに3名集合して、6時40分発の「やまびこ203号」自由席に乗り込んだ、がらがらだったので、3列席をひっくり返して6人分を3人で占領していたら、上野駅から多く乗車してきたので元に戻した、更に大宮駅からも乗客が増えて立つ人も沢山出た。宇都宮に7時半に着くので、通勤する人が多いのだろう。

定刻に那須塩原駅に着き、バス乗り場に行くと、もう席が殆ど埋まっている、ようやく滑り込みで座ることができた。運転手さんにバス料金を訊くと、片道¥1,640で「那須高原フリーパス」は¥3,000だということで3枚まとめて購入した。超満員のバスは8時に発車して、途中の黒磯駅では通学の生徒を乗せる、那須湯本温泉を過ぎてやっと少し紅葉が見えてきた。快晴の青空が見え、風も無さそうである、那須茶臼岳は風が大敵なのだ。

定刻9時17分に那須ロープウェー駅に到着。今日は平日なので乗り場に人は少なく、9時30分発に乗ることができた。ゴンドラの窓からは周りの紅葉を望めた、特に右手の朝日岳山腹の紅葉が日を浴びて綺麗に映えている、約5分で山頂駅へ着く。待合室ではストーブを焚いていた。防寒の体勢を整え、軽く準備体操をして9時50分出発、外へ出ると少しヒンヤリするが気持ちがいい。

最初のうちは幅の広い砂利道を歩いて、直ぐに「牛首分岐」に着いた。ここから茶臼岳への登山道と分かれて、少し下りの道で火山岩がゴロゴロしているが、砂利道ではない。途中には緊急救助用の番号付き標識が随所にあり、霧が出た時などには安心だ。10時30分に最下点の「高雄口」分岐に着いた、ここから少し登り返して、10時45分に「牛ヶ首」に着いた。「姥ヶ原」を見下すと、素晴らしい紅葉が見られた。少し風があるが大したことは無い。

私はこのベンチで待つことにして、伊藤さんと神田さんに「姥ヶ原」まで行ってもらうことにした。隣のベンチでも相前後して登ってきた年配男性がじっと待っている、同行の女性5~6人のみ「姥ヶ原」まで行ったのを待っている様子だった。12時10分頃伊藤さん達が戻って来た。“自然の庭園”と云われる「ひょうたん池」からの紅葉が素晴らしかったそうです。昼食を摂り12時40分に出発する。

一旦下り直ぐ登り返して、12時48分「無間地獄」に着いた。直ぐ近くに噴気があり、長居は無用の所だ。13時5分、“賽の河原”の様な所で立派な木橋が架かった処に着いた。向うから橙色又は黄色のヤッケを着た一群がやってくる、写真撮影者も同行しての山岳救助隊員の訓練のようだった。全員で20名超いたのだろうか。

13時20分「峰の茶屋跡避難小屋」に到着した。「三斗小屋温泉」方の道を覗き込むと、急坂を登ってくる人がポツンポツンと見える。眼前に岩肌の「剣ヶ峰」がそびえ、「朝日岳」の斜面は綺麗に紅葉している。これに対して「茶臼岳」は岩だらけのゴツイ景観だ。

13時25分、ここからは左手の朝日岳の斜面の紅葉を眺めながら、比較的ゆるい岩ごろの道を下る。しかし

浮石が多く、左手は崖なので気は抜けない。途中、朝日岳の斜面の紅葉の写真を撮りながら下る。中間点を過ぎると広葉樹の林の中に入り、今度はナナカマドやシラカバの紅葉が現れた。ナナカマドは実は真っ赤だが、葉は赤く紅葉したものと緑色のままのものが混じっている。やがて「山の神」の祠と鳥居を通過して、14時20分に県営駐車場に着いた。ここからは石畳と石段の繰り返しの道になり、歩くのが楽になった、そうは言っても足が草臥れていて重い。山麓バス停傍の広場には、既に下って来た山岳救助隊員達が集合していた。

14時35分にな須ロープウェー下駅に着き、うまい具合に14時48分発のバスに間に合った。帰りは楽々座れたので助かった。宿泊のために直ぐ下の「大丸温泉」に下車する人達もいた。

バスは16時7分那須塩原駅に到着し、列車は16時49分発の「なすの292号」だった。“なすの”だから悠々座れると思っていたら、とんでもない満員に近い、それでもばらばらだが座れたので良かった。18時に東京駅、18時20分に新宿駅に着いて、今回は「サイゼリア」で1時間半位、反省とおしゃべりをして20時頃解散した。

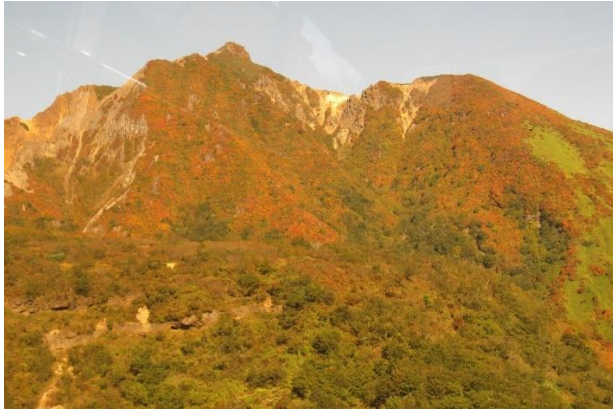
今年の紅葉は夏の暑さのために色付きが狂ってしまったらしい。ナナカマドの異常な紅葉などと合わせて考えると、これ以上の紅葉は恐らく期待できないだろう。今回は時期的にも丁度良く素晴らしい紅葉を満喫することができた。“秋晴れ”の快晴で、しかも風が殆ど無かったのが何よりだ。何せ那須茶臼岳は強風の名所なのだから。

以上 陽田



「ひょうたん池」に浮かぶ「逆さ茶臼岳」





ロープウェイから見た朝日岳の紅葉



牛ヶ首から見下した姥ヶ原の紅葉



牛ヶ首から見た茶臼岳



硫黄鉱山跡から見た朝日岳



茶臼岳を背負って



峰の茶屋跡にて